新春

筑直斎連

年の春乃隣や
なにかり 鶴聲
満りに

うらゝたかや
明の水郭乃
峰の雉子橋る

如月に如木の雪千
弛く峰幟

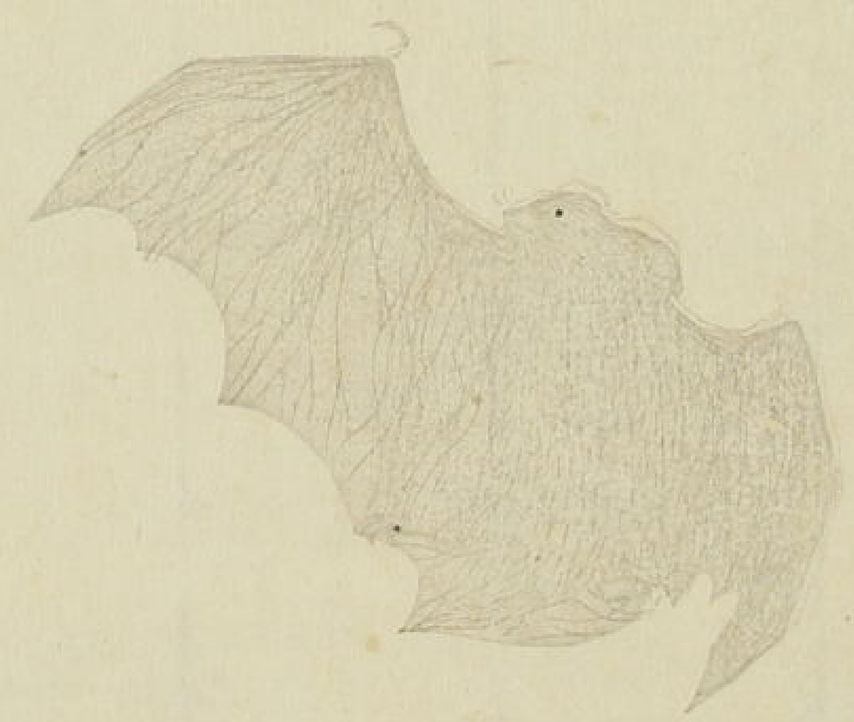
校巾

けふの笑顔の音
鳴き娘の声　文之

梅にて河
あつまる扶さ最早し　素梅

お雨ふり明や
離れんのまゝつゝし　衣雄

名日の江東
茂蘇の山乃
京の郷し　吹清



叙や離れ
ほとゝる庭木を
あさましの　五雪

月半帰
かやくらん
ほとゝきす沢　鶴花

梅の間た
若み展
ほさふし　更衣　寄舌

若葉に
さけ千夜氷
静過の郷し　百蘇

春川や
蛇乃ほれたり　桃雫

茂る子のほよんそろうす　荅外

浮世画
重華